

令和7年度 都城市立山之口中学校 学校評価

評価基準 4：まったくそうである 3：どちらかというところである 2：どちらかというところではない 1：まったくそうではない

	評価項目	主な取組	評価平均			平均	成果と課題及び分析 (成果：○ 課題：●)	学校運営協議会委員より	委員 平均	最終 評価			
			教職員	生徒	保護者								
学力の 向上	1	生徒は、基本的な学習態度が身に付いている（2分前着席・立腰・返事）	○学習態度徹底週間の設定 ○生徒会による活動 ○日常指導	2.6	3.3	3.2	3.0	○授業の工夫・改善（項目2）や、授業の中でのまとめ、表現する場面の設定（項目4）については高評価である。校内研究での一人一授業や支援訪問を受けての授業改善の成果と言える。一方で、職員の評価からは、現状に満足せずさらなる授業改善が必要だと考えていることも伺える。 ○総合的な学習の時間（項目5）では、1、2年生の山之口地区での職場体験や、地域の方や大学生を講師とした3年生の「ひなた場」、1年生の伝統芸能の学習など、地域の協力をいただいたことが評価につながったと考える。 ●基本的な学習習慣（項目1）や、学習内容の理解（項目3）、家庭学習（項目6）に関する職員・保護者の評価と生徒の評価に隔りがある。学習の基礎を支える学習態度や家庭学習の習慣について、生徒会活動など生徒の主体的な取組や学校・家庭が連携した取組が必要である。また、補充学習の時間の活用についても改善の余地がある。	○学習状況については各評価から判断する限り前向きにとらえていることが伺える。このまま伸ばしてほしい。 ○地域との関わりの中で生徒、先生が積極的に参加していただいていることに感謝申し上げたい。将来山之口を支えてもらう若者達がこのような影響を受けて、前進してもらうことを期待している。 ○ひなた場では、一人一人がしっかりとした考えをもって意見を言える生徒が多いと思った。また、主張ばかりする子供が増えた中で、責任がもてる生徒になってほしい。 ○「ひなた場」の実施により、生徒自ら将来の目標を考えること、また自分の思いをどのように表現するか、効果があったと思う。 ○「ひなた場」の取組が、少しでもこれから生活していく指針になればと思います。 ○二年目のひなた場、今年は大学生も参加してくれて、より身近に自分の未来を考える良い機会になったのではと思う。 ○生徒は楽しんで授業を受けているように感じられた。これも先生方の創意工夫の賜物と思う。 ○発表会での伝統芸能の発表は生徒が自分の郷土に誇りをもてる1つのきっかけになったのではと思われ、将来の郷土愛につながってほしいと思う。 ○文化発表会での伝統芸能の学習はとても素晴らしいと思うので続けてほしい。	3.2	3		
	2	教師は、授業の内容が理解しやすいように授業を工夫・改善している。	○校内研究における一人一授業の実施 ○指導過程の工夫	3.1	3.4	3.1	3.2					3.4	3
	3	生徒は、授業の内容が理解できている。	○授業改善のための校内研究 ○補充学習の工夫 ○キュビナの活用	2.7	3.1	2.8	2.9					3.0	3
	4	授業の中で、考えをまとめたり、表現したりする場面がある。	○授業改善のための校内研究 ○YOMUYOMUによる読解力・表現力の向上	2.9	3.3	3.2	3.1					3.4	3
	5	生徒は、総合的な学習の時間に、地域との関わりや自分の生き方や将来について考えている。	○地域講師の招聘 ○キャリア教育の充実	3.1	3.2	2.9	3.0					3.7	4
	6	生徒は、家庭での学習を工夫し内容が充実している	○家庭学習の方法の指導	2.3	3.0	2.5	2.6					3.2	3
健康・ 体力の 増進	7	生徒は、保健体育の授業や養護教諭の指導をとおして、自分の健康・体力に気を付けている。	○保健だよりの発行 ○保健体育の授業での啓発	2.9	3.4	2.9	3.1	○2回（5月、1月）の避難訓練（項目9）には、目的意識をもって真剣に参加しており、そのことが評価として表れているのではないだろうか。 ○健康・体力（項目7）を支える、早寝・早起き。朝ごはん（項目8）は、生徒と職員・保護者の評価に隔りがある。保健体育の授業や保健だよりをとおした、保護者や生徒の意識の向上と情報発信を図る必要がある。 ●SNS利用上のルールやマナー（項目10）については、危機感の違いからか、職員と生徒・保護者の評価に隔りがある。生徒のみならず、保護者も対象とした情報モラル教室などを行うことで、情報モラルの意識を高めていくことが重要だと考える。	○運動をする機会が減る中で体力をもっとつける機会があるといいと思う。 ○生徒の減少に伴い「部活」から「クラブ」への移行が体力減につながるのでは。 ○避難訓練に真剣に取り組んでいることは大変良いことだと思う。災害もいろんな状況が考えられるので是非様々な災害に対応できる様くり返しの訓練を続けて頂きたいと思う。 ○SNS利用については被害者になる可能性のみならず知らぬ間に加害者にもなり得ることも考えられるので、保護者を含めた情報モラル教育を強化していただきたいと思う。 ○SNSについての生徒・保護者の評価が、かなり甘い気がするが、本当に大丈夫なのだろうか？	3.2	3		
	8	生徒は、早寝・早起き・朝ごはんがしっかりできている。	○保健だよりの発行 ○栄養教諭との連携	2.8	3.4	2.9	3.0					3.0	3
	9	生徒は、自分の命を守るために避難訓練に真剣に取り組んでいる。	○年間2回の避難訓練の実施 ○避難訓練の事前・事後指導の充実	3.1	3.6	3.2	3.3					3.5	4
	10	生徒は、SNSなどを使う上でのルールやマナーを守れている。	○情報モラル教室の開催 ○学級活動での指導 ○集会等での啓発	2.7	3.7	3.3	3.2					3.2	3
豊かな 心の 育成	11	生徒は、学校や社会のルールやマナーを守って学校生活を送っている。	○「当たり前」の確認 ○集会等での啓発 ○生徒会活動の充実	2.6	3.6	3.4	3.2	○道徳の時間（項目12）については、学級担任だけでなく学年全体で取り組むなどの工夫を行っていることが評価につながっていると考えられる。 ●規範意識（項目11）については、職員と生徒・保護者の評価に隔りがある。職員間で課題を洗い出し、必要に応じて対応する。 ●思いや考えを相手に伝えること（項目13）については、経験不足も考えられる。学校生活で場を設定するなどしていきたい。	○豊かな心の育成については、日常的に生徒に色々な場面で指導・育成していくことが求められる。言われてするのではなく、自己・他者を見つめ、振り返る習慣を身に付けさせたい。 ○ルールを守る生徒、思いやりがもてる生徒になってほしい。 ○あいさつについては、日頃より明るくできていると思う。 ○今の子ども達はSNS等では思いや考えを伝えることは出来ても、お互いに顔を見て思いを伝えることが苦手なのではという気がする。相手に分かる言葉で伝えることの大事さを学校だけでなく家庭への啓蒙も必要ではと思う。	3.4	3		
	12	生徒は、道徳の時間に、自分や他者を見つめ、振り返り、大切にすることができている。	○道徳の時間の計画的実施、内容の充実	3.1	3.5	3.2	3.2					3.4	3
	13	生徒は、自分の思いや考えを相手に伝えることができる。	○各教科や学級活動等での場の設定	2.8	3.3	2.8	2.9					3.0	3
家庭・ 地域との 連携	14	通信やHP、シグファイ、参観日や学校行事などで生徒や学校の様子や情報がよくわかる。	○HPの週1回程度の更新 ○年4回の参観日実施 ○学校・学級通信の定期的な発行	3.6	3.5	3.2	3.4	○学校からの情報発信（項目14）については、高評価である。ホームページや学級・学校通信で絶えず情報を発信してきた成果と考える。 ●地域行事への参加（項目15）について保護者の評価が低い。学校をとおした地域行事等への参加は多いが、家庭を通じた自主的な地域行事への参加が乏しいのではないかと。	○地域行事等への参加は素晴らしいと思っているが、保護者の意識（参加意志）が低いことが要因になっているのではと思う。 ○生徒たちの積極的な地域行事への参加で、地域が助かっている。 ○今年度は町運動会、弥五郎どん祭りの参加など地域の活性化に貢献できた。 ○地域活動や行事の積極的な参加、感謝しています。 ○地域の行事への参加が以前より少なくなった気がする。（小学校の合同運動会等）部活動等の調整も必要と思うができるだけ参加してもらうよう期待します。 ○回覧板で学校だよりが回ってくるようになり、学校の現状を知るよい機会になっている。 ○学校の状況を知るには、このような情報発信はとても便利で分かりやすい。 ○学校通信を今後とも地域に発信してほしい。 ○学校だよりの地域への発信ありがとうございます。紙での発信もまだまだ必要だと思うので、是非続けて下さるようお願いいたします。	3.8	4		
	15	生徒は、地域のボランティア活動や行事（公民館行事や祭り、伝統芸能）に積極的に関わっている。	○地域団体と学校の連携 ○伝統文化継承への協力 ○総合的な学習の時間の充実	3.8	3.0	2.7	3.2					3.8	4